

地域密着型ビジネス創出事業助成金の採択決定について

平成 21 年度第 1 回募集分

財団法人えひめ産業振興財団では、愛媛県内で培われた製造技術や豊富な農林水産物、良質な自然資源など、地域に潜在する資源や地域のニーズを活かした「地域密着型ビジネス」を新たに開始しようとする個人や中小企業者の方に対して、初期的経費を助成する対象事業の募集を行っていたところですが、このたび平成 21 年度第 1 回募集分として 14 件の応募があり、審査会を経て下記のとおり 7 件の事業計画を採択したのでお知らせします。

記

申請者	事業テーマ	事業概要
(有)エスペランス 代表取締役 安部 有里子 (今治市)	瀬戸内海の地魚を活用した「主婦のわがまま商品」の開発・販売	地元天然魚の加工販売。味付けや包装等について、徹底的に主婦のニーズを反映することで商品の差別化を図り、インターネット宅配及び店舗での販売を行う。インターネットでは水産物に関する情報発信を行い県産魚介類の消費拡大に取り組む。
(有)エレックス 代表取締役 弘瀬 昌章 (松山市)	愛媛をサポートする「フィールドメディアシステム」の販売及びレンタル	独自に開発した日中の屋外でも鮮明に映像が見える屋外用スクリーンにより、各種イベント等において、低価格で利用できる屋外映像サービスを提供する。
(株)GOOD FIELD 代表取締役 芳野 裕士 (松山市)	はだか麦を生地に使用した「媛スマイル焼き（ミニお好み焼）の開発・加工・実演販売事業	生産量日本一を誇る「はだか麦」などの県産食材を活用した、大判焼きタイプの新たな小型お好み焼きを開発し、笑顔をテーマとしたブランド化を図り、全国販売に取り組む。
(有)クレメント 代表取締役 宮下 志乃富 (松山市)	「松山産べにふうき茶」の加工、販売事業	中島の生産農家と連携しながら、松山産べにふうき(茶葉)による『瀬戸』ブランドを立ち上げ、粉末緑茶やべにふうき石鹼を商品化するとともに、菓子メーカー等へ商品の提案を行い、販売拡大を図る。
(株)木遊舎 代表取締役 徳島 忠久 (伊予市(旧中山町))	県内産ヒノキ材を使用したおもちゃの企画・製造・販売(あかちゃんのほっぺシリーズ)	輸入材が主流の木製玩具市場において、県内産ヒノキ材を活用して、木肌のぬくもりとやさしさをイメージした木製玩具をブランド展開するとともに、ニーズの高いメモリアル商品に対応して販売拡大を図る。
高倉 純子 (宇和島市)	水産資源「アコヤ貝貝殻」の有効活用による「スキンケア商品」販売事業	真珠養殖で廃棄処分されていたアコヤ貝の貝殻を有効活用したスキンケア商品(OEM製造)を、愛媛産として販売するとともに、商品のPRを通じて地域の観光振興にも取り組む。
(株)まさき村 代表取締役 三好 茂 (松前町)	まさき生まれの食材提供基地の開設とまさきオリジナル商品の企画販売事業	大型ショッピングセンター(SC)と連携のうえ、SC敷地内に地元産品を販売する店舗を開設するほか、オリジナル商品の企画・開発にも取り組む。

[過去の採択事業はこちら](#)